

1. 計画の目的と関連計画の整理

1-1 計画策定の背景

由布市は、大分県のほぼ中央に位置し、北は宇佐市と別府市、南は竹田市、東は大分市、西は玖珠郡（玖珠町と九重町）に接しています。

昭和30年に由布院町・湯平村が合併して湯布院町となり、平成17年に挾間町・庄内町・湯布院町が合併し、現在の由布市になりました。平成27年国勢調査によると、人口34,262人、高齢化率32.3%となっており、現在150自治会があります。

東西24.7km、南北23.4km、面積319.32km²の本市は、北部から南西部にかけては由布岳や黒岳など1,000m級の山々が連なり、由布岳の麓には標高約450mの由布院盆地が形成されています。

これらの山々を源とする河川が大分川を形成し東西に流れています。中央部から東部にかけては、山麓地帯と大分川からの河岸段丘が広がっています。

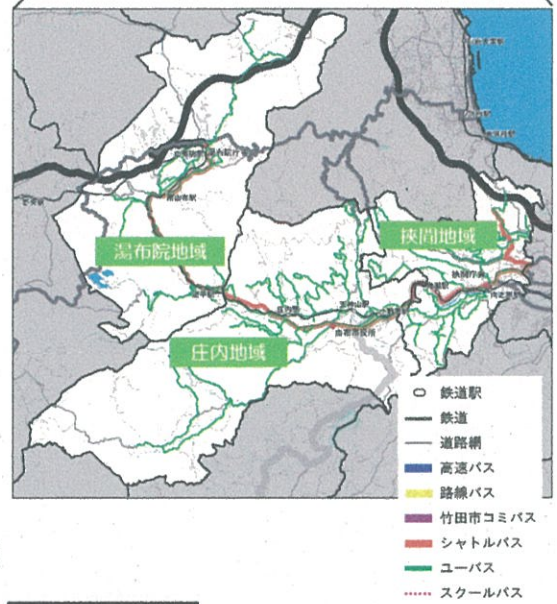
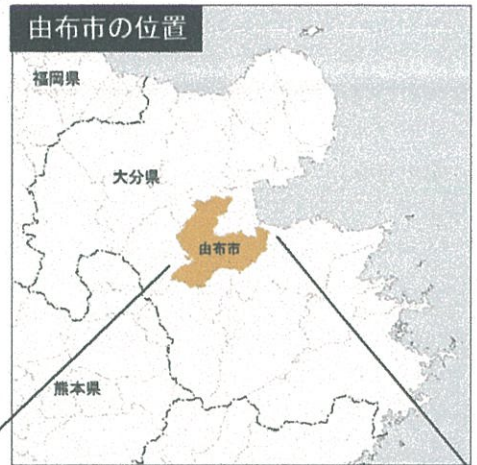
また、道路網としては、湯布院地域を走る大分自動車道、挾間地域・庄内地域・湯布院地域をつなぐ国道210号等といった道路が整備されています。

本市の公共交通機関としては、鉄道はJR久大本線があり、由布院駅をはじめ、市内に8つの駅を有するほか、バス交通としては、高速バス（空港リムジンバス含む）や路線バス（亀の井バス、大分バス）、九州産交バスが運行する定期観光バス（九州横断バス）等があります。タクシーは大分県タクシー協会に加盟している事業者が4社あります。このほか、市が運行主体のコミュニティバス（ユーバス）が計32路線（合併前の3地域で計24路線、スクールバス5路線、旧町間のシャトルバス3路線）あります。

このような状況の中、「由布市総合計画」では、由布市のまちづくりの目標として「地域自治を大切にしたい住み良さ日本一のまち」に向けた“安心して暮らせる地域社会の創造”などの実現を掲げています。

その実現に向けて由布市の公共交通は、高齢者の生きがいづくり・健康増進・買い物支援等のまちづくりの課題解決のほか、定住・交流の促進等の役割を担っていく必要があります。

本計画では、まち全体の利益向上・持続性向上に繋がるような、由布市らしい“身の丈に合った持続的な地域公共交通網”を地域全体で創り上げ・守り・育てることを目指しています。



①雨乞牧場からの由布岳



②由布岳の北麓に広がる塚原高原



③原生林の広がる黒岳



④男池湧水群などから形成される河川



※図中の番号は写真の番号



⑤棚田と由布川峡谷

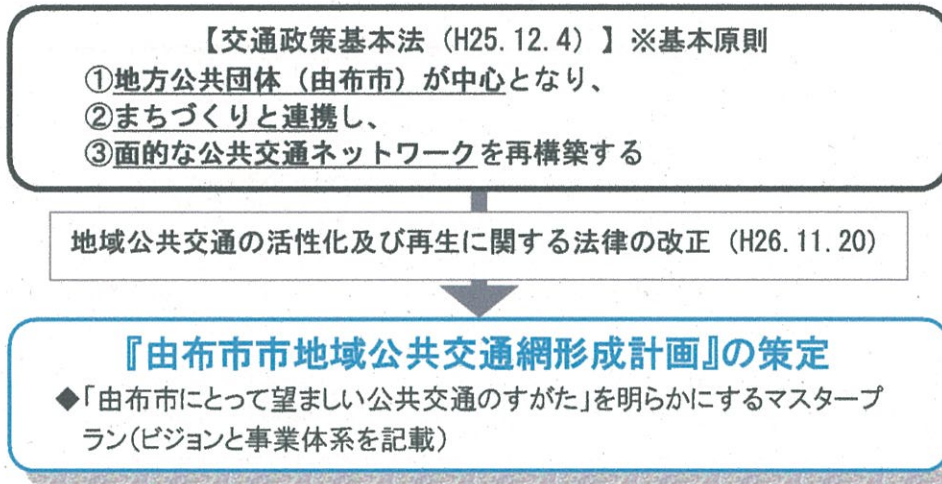


⑥60mの落差のある由布川峡谷

資料：由布市景観マスタープラン

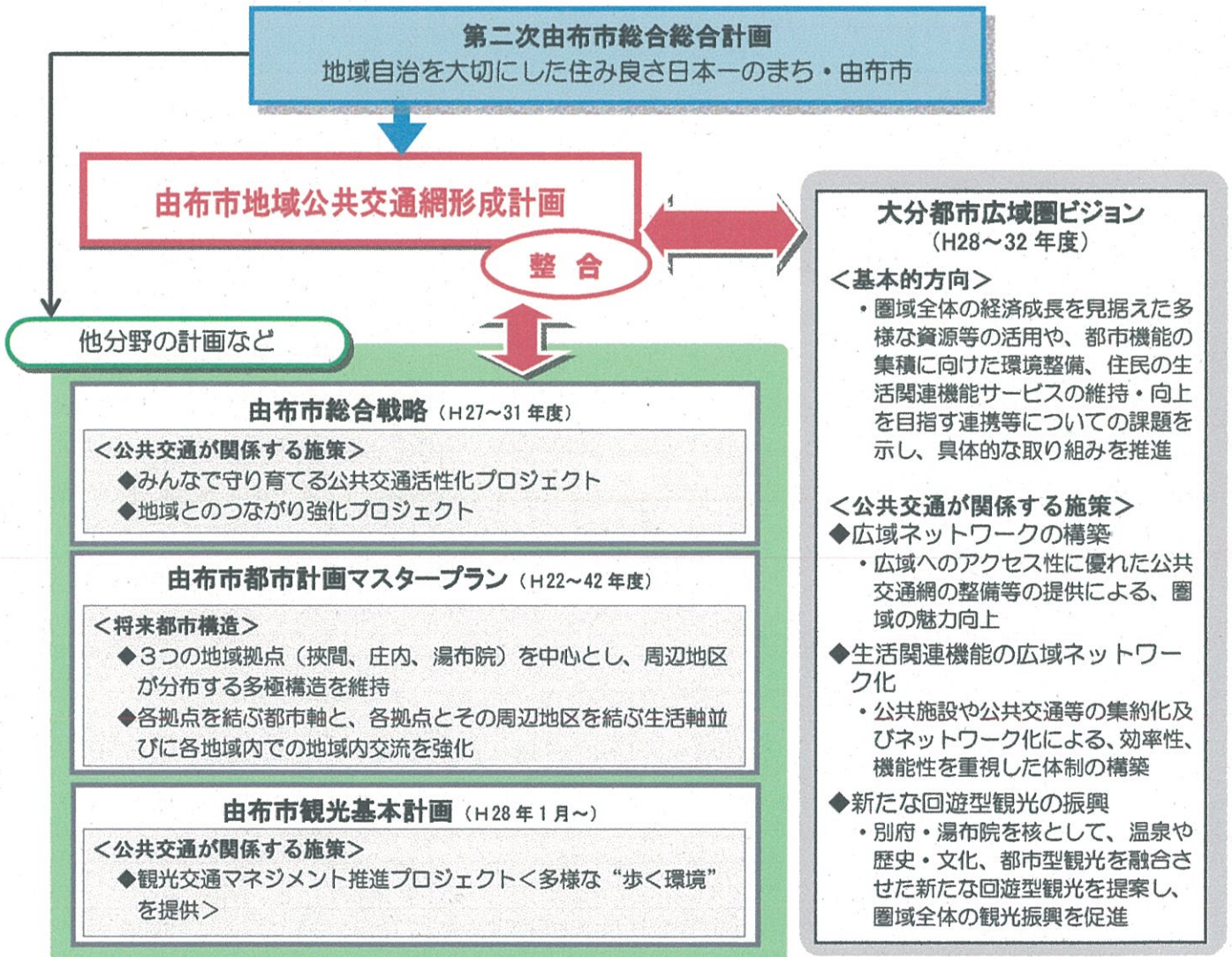
1-2 計画の目的・位置づけ

本計画は、「交通政策基本法」及び「改正地域公共交通活性化再生法」に則り、由布市のまちづくりの将来像を示す「由布市総合計画」などの推進に向けた「由布市にとって望ましい公共交通のすがた」を明らかにする地域公共交通の基本計画（マスタープラン）です。



「第二次由布市総合計画」を最上位計画としつつも、「由布市総合戦略」、「由布市都市計画マスタープラン」など関係計画等との一体性を確保し、整合を図っています。

また、本計画は「大分都市広域圏ビジョン」との整合がとられた計画となります。



1-3 計画の構成

由布市地域公共交通網形成計画は、次の項目で構成しています。

計画の目的と関連計画の整理

計画策定の背景や目的、計画の位置づけなどを整理しています。

由布市の概況

本市の人口特性や施設分布、通勤・通学流動、公共交通の現状などを整理しています。

由布市の地域公共交通に関する利用者ニーズ調査(概要)

計画策定に当たって実施した各種ニーズ調査の概要を整理しています。

【自治会長・民生委員アンケート】

自治会長・民生委員からみた地区の公共交通に関する問題やニーズ等を調査しています。

【交通不便地域住民ヒアリング】

交通不便地域に住む高齢者の移動時の困りごとや公共交通の利用意向等を調査しています。

【中学3年生保護者アンケート】

高校進学を想定した際の、高校までの移動手段や通学時の不安等を調査しています。

【生活・観光施設利用者アンケート】

市民がよく利用する施設での利用者の施設利用状況や公共交通に対するニーズ等を調査しています。

【バス乗り込み調査及び聞き取り調査】

市内で運行している大分バス及び亀の井バスが運行するユーバス利用実態等を調査しています。

由布市の将来のまちづくりにおける公共交通の問題点・課題など

由布市の地域特性や公共交通の現状、調査で分かった利用者ニーズ等を踏まえて、本市の地域公共交通の課題などを整理しています。

由布市地域公共交通網形成計画(本編)

本計画には、国の「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」に基づき、本市における公共交通の基本方針、計画の区域、計画の目標並びに目標を達成するために行う事業及びその実施主体、計画の達成状況の評価に関する事項などを記載しています。

1-4 上位・関連計画における公共交通関連施策など

1-4-1 上位計画「由布市総合計画」

第二次由布市総合計画（平成28年3月）	
計画概要等	<p>○計画期間 基本構想：平成28年度～平成37年度 重点戦略プラン：平成28年度～平成32年度</p> <p>○まちづくりの目標 地域自治を大切にしたい住み良さ日本一のまち・由布市</p> <p>○まちづくりのテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで進める！接続可能なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・市民とともに作る「まちの未来」 ・持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成 ・安心して暮らせる地域社会の創造 ・一人ひとりの力を活かせるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが輝ける福祉社会の実現 ・いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現 ・安心して受けられる医療・保険の実現 ・人や文化を育むまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいに満ちた生涯学習社会の形成 ・生きる力を育む学校教育の推進 ・誇りを持てる地域文化の創造 ・人権を尊重する社会の形成 ・安心して笑顔で子育てできる地域社会の創造 ・経済の循環から地域が潤うまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した持続可能な農林畜産業 ・地域のにぎわいを生み出す商工・観光業 ・由布市で住み働くことの魅力向上 ・豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境の実現 ・質の高い生活環境の実現 ・地域を知り、表現するまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・多様な交流と情報発信の促進
公共交通に関する記述内容	<p>○計画期間：平成28年度～平成32年度</p> <p>○重点戦略プラン ・みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト</p> <p>○目標 ・まちづくりと一体化した、市民協働による持続可能な公共交通体系の実現</p> <p>○基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コミバスの利便性向上及び合理化を通じて、利用者の拡大を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・「路線（経路・停留所位置）」、「ダイヤ」、「乗降施設」、「車両」の4つからなる「基本コンテンツ」の工夫を図る。 ・回数券・割引パスポート等の導入等によるお得感の向上を図る。 ・広域市町村圏協議会と連携する中で大分市中心部へのアクセス向上やJRへの乗り継ぎ可能な路線運行に努め、利便性を向上させる。 ・収支率が一定水準を下回る場合には廃止することについて地域と協定を結ぶなどして、公共交通維持のための住民意識の向上を図る。 ②コミバスの収支率が一定水準を下回る路線については、他の交通モードで代替することを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の助け合い（無償運送もしくは自家用有償運送等の導入）による「地域の足の確保」。 ③まちづくりと一体となった公共交通の実現を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいづくり・健康増進事業あるいは買い物支援等ソフト事業と連携する中で、公共交通利用者増加に向けた取り組みを進める。 ・小さな拠点づくり等を組み合わせながら、公共交通利用者増加に向けた取り組みを進める。

1-4-2 主な関連計画「由布市総合戦略」

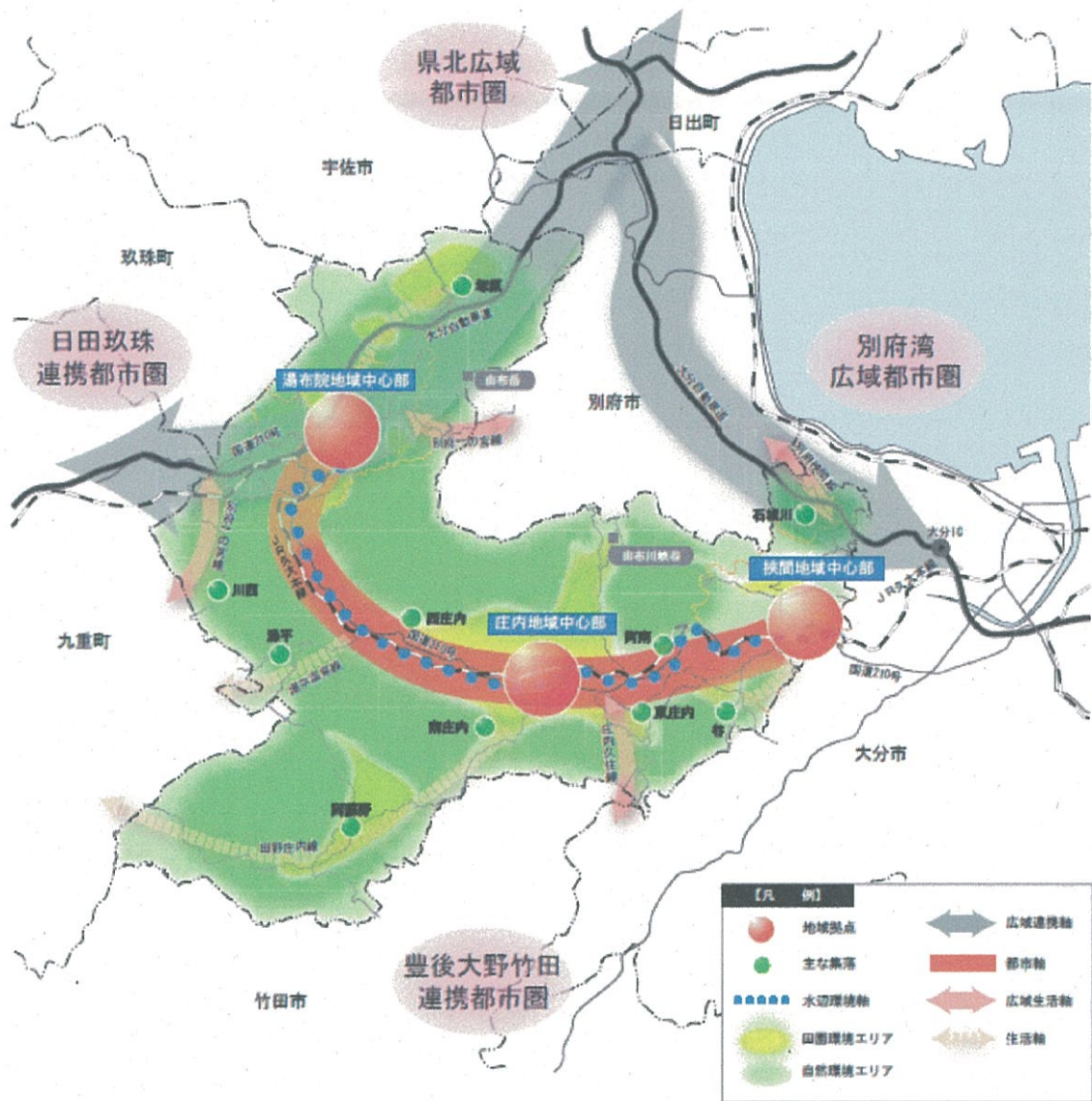
由布市総合戦略（平成27年10月）													
計画概要等	<p>○計画期間：平成27年度～平成31年度</p> <p>○基本目標</p> <p>Ⅰ 由布市における安定した雇用を創出する</p> <p>Ⅱ 由布市への新しい人の流れをつくる</p> <p>Ⅲ 由布市での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する</p>												
公共交通に関する記述内容	<p><基本目標Ⅳ 施策2 みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト></p> <p>適宜利用者のニーズに応じた路線、ダイヤ等の工夫を図り、高齢者の生きがいづくり事業等とタイアップすることによりコミュニティバスの利用者増加を目指します。また、収支率が改善しない路線は、新たな交通モードへの切り替えに向けた検討を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="496 741 1326 958"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（H26）</th> <th>重要業績評価指標（KPI H31）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティバス利用者数</td> <td>49,302人</td> <td>51,700人</td> </tr> <tr> <td>新たな公共交通創出数</td> <td>—</td> <td>2地域</td> </tr> <tr> <td>コミュニティバスとの連携した事業の実施数</td> <td>—</td> <td>3事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>①コミュニティバス利便性向上・合理化事業</p> <p>○コミュニティバスの路線やダイヤ等の工夫を図ることにより、市民の公共交通への再認識と利便性の向上を目指します。また、同時に収支率の改善が見込めない路線の見直しを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通対策会議の充実 ・回数券・割引パスポート導入事業の推進 ・大分都市広域圏協議会との連携 <p>②新たな交通モードによる持続可能な公共交通創出事業</p> <p>○地域实情に沿った新たな公共交通が求められてきています。この課題を解決するために、地域での助け合い交通など、新たな公共交通と同時に雇用の創出を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の助け合い無償運送事業の検討 ・自家用有償運送事業の検討 <p>③まちづくりと公共交通の一体化事業</p> <p>○市が取り組む様々な事業との連携を行うことで、まちづくりと一体となった公共交通の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがい事業との連携推進 ・健康事業等の連携推進 ・小さな拠点づくり事業の推進 <p><基本目標Ⅳ 施策5 地域とのつながり強化プロジェクト></p> <p>①大分都市広域圏推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光交通バス運行事業の推進 	指標名	基準値（H26）	重要業績評価指標（KPI H31）	コミュニティバス利用者数	49,302人	51,700人	新たな公共交通創出数	—	2地域	コミュニティバスとの連携した事業の実施数	—	3事業
指標名	基準値（H26）	重要業績評価指標（KPI H31）											
コミュニティバス利用者数	49,302人	51,700人											
新たな公共交通創出数	—	2地域											
コミュニティバスとの連携した事業の実施数	—	3事業											

1-4-3 主な関連計画「由布市都市計画マスタープラン」

由布市都市計画マスタープラン（平成25年2月）	
計画概要等	<p>○計画期間：平成22年度～平成42年度</p> <p>○まちづくりの基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの個性を大切にし、自然・人・文化が交流するまち ゆふ <p>○まちづくりの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然、人、文化が地域間で交流、連携するまちづくり ・地域ごとの個性にあわせた、快適に暮らすことができるまちづくり ・自然環境や田園環境を守り、育てるためのまちづくり ・環境の「質」を高めるまちづくり ・市民が主役のまちづくり <p>○将来都市構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一極集中型の都市構造ではなく、3つの地域拠点（挾間、庄内、湯布院）を中心とし、周辺地区が分布する多極構造を維持していきます。 ・地域間連携と市全体の一体的なまちづくりを推進していくために、各拠点を結ぶ都市軸（国道210号、JR久大本線）と、各拠点とその周辺地区を結ぶ生活軸並びに各地域内での地域内交流を強化していきます。 ・拠点や地区の周囲に広がる山林等の自然環境および農地等の田園環境を維持していきます。 <p>■都市構造の概念図</p> <p>The diagram illustrates the urban structure with three regional nodes: 湯布院地域 (left), 庄内地域 (middle), and 挾間地域 (right). A thick red horizontal arrow represents the 'Urban Axis' connecting these nodes. Smaller blue arrows radiate from each node, representing 'Local Axes'. Three text boxes provide context: 1. Top: '都市の一体性を高めていくため、都市軸を配置し、機能を強化します' (To improve urban unity, we will configure the urban axis and strengthen its functions). 2. Bottom: '都市の一体性を高めていくため、生活軸を配置し、機能と交流を強化します' (To improve urban unity, we will configure the life axes and strengthen functions and exchange). 3. Bottom-left: '自然環境や田園環境を維持します' (We will maintain the natural and rural environments).</p>
公共交通に関する記述内容	<p><第2章 3-(2) 1) 交通体系整備の基本的な考え方></p> <p>○交通体系整備の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して移動できる人に優しい交通環境を実現するため、交通弱者に対する公共交通サービスの維持・充実に努めます。 ・超高齢社会の到来に対応するため、道路施設や公共交通におけるバリアフリー化などを検討していきます。 <p><第2章 3-(2) 2) 交通体系の整備方針 ②公共交通の整備方針></p> <p>○鉄道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、JR久大本線が3つの地域を縦断し8つの駅を有しており、通勤・通学や買い物、旅行時などの生活面や観光面で、地域内、市内外の交流に寄与しています。しかしながら、運行本数の少なさや駅での自家用車の駐車場の不足などの改善が求められる状況にあります。環境に優しく、自動車による混雑解消にも寄与する鉄道の利用促進に向け、運行サービスの向上を鉄道事業者に働きかけるとともに、駅毎の特性を踏まえながら駅前広場や乗り継ぎ用駐車場の設置、バリアフリー化を行うなど、鉄道を利用しやすい環境整備も検討していきます。

	<p>○バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭間地域および湯布院地域に残る路線バスについては、市域外とも連絡する幹線的な公共交通手段の一つとしてその維持に努めます。 ・廃止された路線バスの代替として導入されたコミュニティバス（ユーバス）については、利用者からは一定の評価を得ており、利用者のニーズを定期的に確認しながら、持続的な運行を目指します。また利用の促進を図るため、サービス向上や新たなサービス導入施策についても今後検討していきます。
<p>地域別交通体系の方針</p>	<p><狭間地域> <第3章 1-(3) 地域のまちづくりの方針[2]交通施設の整備方針></p> <p>○公共交通の維持・機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしく、誰もが歩いて暮らせる地域づくりを進めるため、鉄道の利便性向上やユーバスなどの地域公共交通の充実を図るとともに、JR向之原駅については、駅前広場等、交通結節点機能の強化を図り、パークアンドライドの促進や車を利用できない人も公共交通機関の乗り換えにより安心して移動できるネットワークの整備を進めます。 <p>○地域拠点と集落を繋ぐ便利で安全な生活道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丘陵地等の集落地については、車の離合が困難な狭隘道路が多くみられるため、防災面や生活利便性を考慮し、市道などの生活道路の整備を進めます。 <p><庄内地域> <第3章 2-(3) 地域のまちづくりの方針[2]交通施設の整備方針></p> <p>○交通施設の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は市域内外を結ぶ誰もが利用できる公共交通機関として、その利便性の確保を図っていくとともに、駅及びその周辺のバリアフリー化を図り、より利用しやすい環境整備に努めていきます。 ・現在運行されているユーバスは利用者のニーズを定期的に確認しながら、ニーズに応じた利便性の向上を図っていきます。 <p><湯布院地域> <第3章 3-(3) [2] 交通施設の整備方針></p> <p>○総合的な交通体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが使いやすく、人にやさしい交通体系を目指すために、徒歩、自転車、自動車、公共交通、駐車場といった個別手段毎での対応を考えるのではなく、平成14年の交通社会実験における思想を基本としながら、歩いて楽しい環境づくりを目標とした総合的な交通体系を目指します。これにより生活環境としての利便性・安全性と、観光地としての賑わいの両立を目指していきます。 <p>○誰もが使いやすい公共交通づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅は重要な交通結節点ならびに玄関口であり、各駅周辺に求められる役割を検証しながら、求められる機能の充実を進めていきます。 ・路線バスについては、市域外とも連絡する主要な公共交通手段の一つとして維持に努めます。現在運行されている“ユーバス”については、市民の需要を定期的かつ詳細に把握しながら、市民に愛される持続可能な交通手段としての育成を図ります。

■将来都市構造図



1-4-4 その他の関連計画

前述の計画以外でも、次の計画において、地域公共交通の位置づけや取組の方向性などが明記されています。

由布市観光基本計画（平成28年1月）	
計画概要等	<ul style="list-style-type: none">○計画期間 計画期間：平成28年1月～必要に応じて適宜計画の見直し○将来目標<ul style="list-style-type: none">・人と暮らしが織りなす“懐かしき未来”の創造～“住んで良し、訪れて良し”、原点回帰のまちづくり～○基本理念<ul style="list-style-type: none">・自然の恵みに感謝し、<small>なりわい</small>生業を尊<small>とこと</small>ぶ由布市観光・個性ある人、個性あるまちを育む由布市観光・内と外の“交流・出会い”を設<small>しつ</small>える由布市観光・真心でもてなす由布市観光・古きを大切に、新しき“風”を起こす由布市観光○重点的に推進すべき総合プロジェクト<ul style="list-style-type: none">・観光交通マネジメント推進プロジェクト＜多様な“歩く環境”を提供＞<ul style="list-style-type: none">・由布市の魅力をより深く感じてもらうための“おもてなし”の一環として、「観光交通計画」を策定し、観光交通による渋滞緩和や通過交通排除、市内での観光客の分散と市内移動手段の確保等を行います。そして、観光客・住民双方に対して、まち歩き・畦道や高原散策・山登りなど多様な“歩く楽しみ”を提供できる環境の整備等を図ります。